

平塚市手をつなぐ育成会
会長 鈴木 亜紀子 様

平塚市長 落合 克 宏



令和 6 年度予算編成に対する要望書について (回答)

日頃、市政の推進に御理解、御協力をいただきお礼申し上げます。
令和 5 年 9 月 1 日付けの御要望について、次のとおり回答します。

記

1 暮らし

知的障がい児者本人の意思を尊重し、多様な暮らしの有り方に関わる支援をお願いします。安心して通い、住み続けられる併用型施設の整備を推進してください。本人の意思を無視する事業所、虐待を行っている施設があります。意思決定支援については保護者や相談支援事業所、学校への周知をお願いします。また、知的障がい児に多くの経験をさせるための必要なサービスを整備してください。

施設整備も含めた切れ目のない福祉サービスの提供体制については、国や神奈川県 の動向を注視しながら必要な施策に取り組んでいきます。

グループホーム等、障がい福祉施設での虐待等の課題については、事案に応じて事業所への調査を実施しています。また、事業所指定を行う神奈川県と意見交換や情報の連携を行い、効果的な対策を講じていきます。

意思決定支援の役割や重要性については、障がいのある方を支える周囲の支援者、関係機関が正しく理解できるよう努めるとともに、平塚市障がい福祉計画、平塚市障がい児福祉計画に示すサービス供給量の確保に引き続き取り組みます。

(事務担当は障がい福祉課地域生活支援担当)

2 防災

神奈川県手をつなぐ育成会で作っている「わたしのノート」という成育歴などを書いた冊子に知的障がい児向けの災害情報を追加出来たら更に充実します。会員は手にしていますが、こういったツールがあることを多くの方に知ってもらう必要があります。

更に、冊子の防災の部分は紙面だけではわからない部分も多く、障がい者の参加を考慮した訓練の実施、課題の共有・改善の仕組みを要望します。

避難行動要支援者制度のメリットを広め、要配慮者の個別避難計画に地域差がないよう進